

巴爾魯克
山のマモ
ルペーキ

哈薩克と
固定家屋

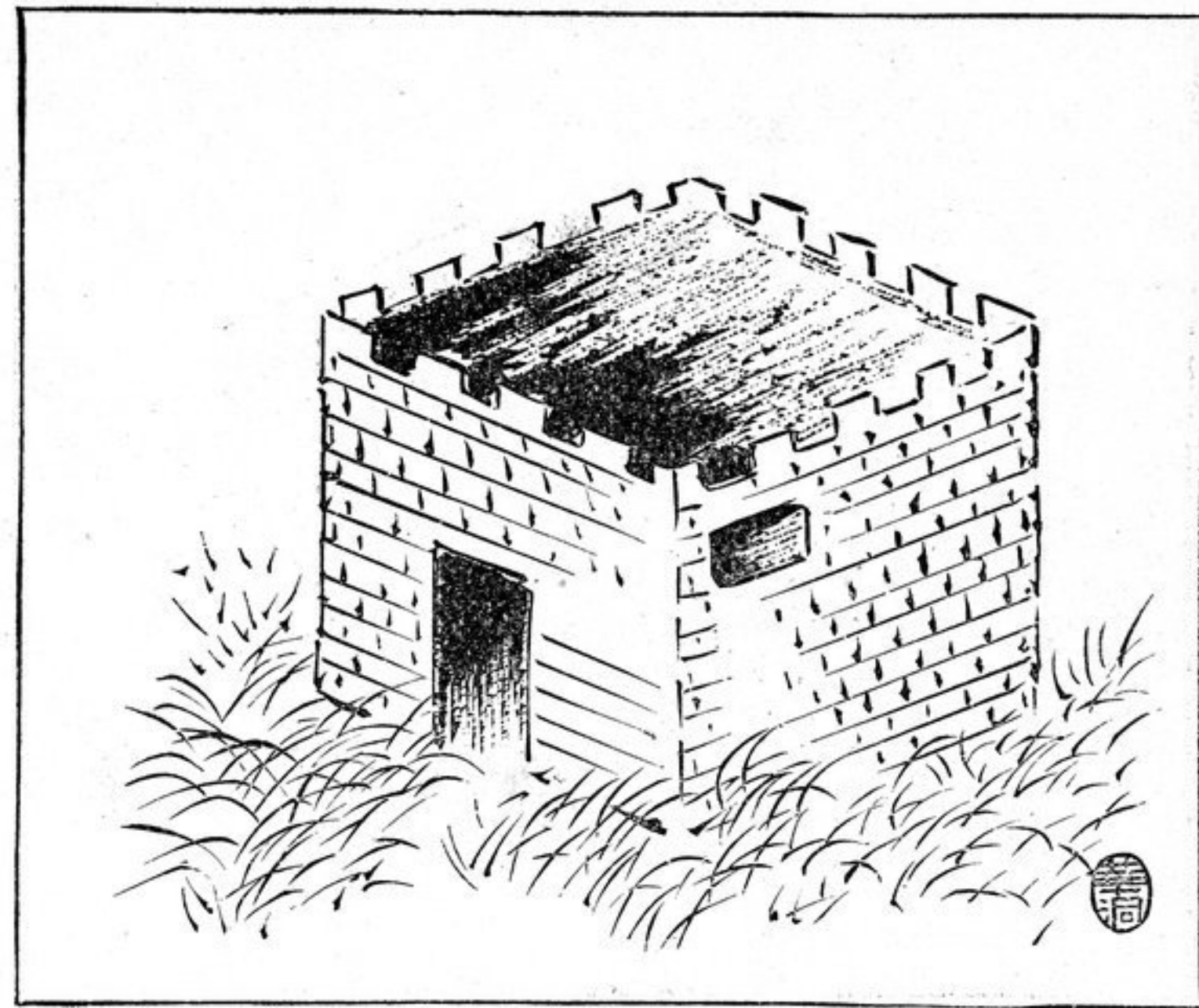
電柱と松
樹

薩克二千家を率ゆる、有名なるマモルペーキの森林帯に到る。マモルペーキは哈薩克族中第一の名望家にして、羊一萬、馬、駱駝各々數千を所有すと云ふ。彼の二千

家は何れも富裕にして一の貧者なしと。

哈薩克は元來游牧民なるが故に、固定の家屋は之を造らざるべしと思ひしに中には冬期家居する者も有り即ち冬は一家の半、圖の如き土造屋内に、又半は家畜を率ゐて山中に入ると、亦奇ならずや。

途上見る所の電柱は皆巴爾魯克山より出るものとす。同山なる樹木の種類は、松其の大部を占め、他は只一種の野果樹あるのみと。電柱は即ち



哈薩克の固定家屋

此の松樹にして、直く且つ節多けれども脂少し。

四、額救河を渡る

十三日行程約五里額救河即ち色德爾莫多臺(或は河上)に着す。此附近沿道一帶